

学科名	電気電子工学科						
科目名	日本語の技法						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期		
必修・選択の別	必修科目						
担当者	萬川正勝						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙・言葉の意味を正確に理解し、漢字等の表記を正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・日本語の特性を正しく理解し、利用できる。 ・敬語の基本を理解し、大学生にふさわしい敬語を正しく使い分けができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。 						
日程と内容	第1回：講義概要＋導入問題の実践 第2回：敬語の種類と使い分け 1 第3回：敬語の種類と使い分け 2 第4回：注意すべき敬語 1 第5回：注意すべき敬語 2 第6回：ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 1 第7回：ら抜き言葉・レタス言葉・さ入れ言葉 2 第8回：文のねじれと係り受け・あいまい文 第9回：文の並び替え・要旨の取り方 第10回：動詞の自他・視点 1 第11回：動詞の自他・視点 2 第12回：文体、話し言葉と書き言葉 第13回：コロケーション 第14回：総合問題 第15回：定期考査 第16回：定期考査の解説、授業アンケート						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計				
	演習	50%				100%	
授業到達目標の達成度	語彙・言葉の意味、日本語の特性・文法の理解に関しては、ある程度目標を達したと思われる。						
反省点	学生たちの言語生活にほとんど欠けている、敬語などの待遇表現の学習指導は、毎年度苦勞する。しかし、学生たちがほとんど知らないからこそ、基本的な敬語は、暗記させるとい手段をとっても、きちんと覚えさせたい。						
来年度の計画	①基本的な敬語の暗記させ方を工夫する。 ②敬語とともに、学生が理解することに苦勞した、「動詞の自他・視点」について、できるだけ多くの例文を用いて、理解させる。						
授業評価アンケートに対するコメント	本年度は、授業内容の復習を、課題として、学生に課した。ほとんどの学生はきちんと課題を提出した。そのことが授業内容の理解の深まりに、結びついていると思われる。毎年度の課題だが、授業内容に触発されて、自主的に日本語の理解を深める点では不十分である。						
履修登録者数	62名	定期試験 受験者数	55名	合格者数	55名	合格率	100%